



【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

連合「政策要求実現 11.15 中央集会」を開催

連合は11月15日(月)「連合政策要求実現 11.15 中央集会」を東京・日比谷公会堂で開催し、1,850名が集結しました。政党からは、川端民主党幹事長、福島社民党党首ほか、**JAM組織内の津田やたろう議員**はじめ、43名と多数の国会議員も参加。格差拡大の小泉構造改革と対決し、公正で安心な職場とくらしを実現するために一致団結することを誓い合いました。

冒頭、笹森連合会長があいさつに立ち、賃金をはじめとする格差の拡大、社会保障制度抜本改革の必要性、平和問題の3点を挙げ、「今、生活と平和の安全保障が破壊されようとしている。今や小泉構造改革との対決ではなく、小泉政権そのものと対決しなくてはならない」と訴えました。

各野党小泉政権を厳しく批判

民主党の川端幹事長は、「自民党は『強い者はより強く、弱き者は切り捨て御免』の政策を推進し、『イラク問題』『年金』『政治とカネ』といった重要な問題を先送りしている」と政府・与党を痛烈に批判。「民主党は皆さんの期待に応えられるようにしっかり対応したい」と支援を訴えました。

社民党の福島党首も「小泉政権はくらしと平和を壊してきた」「カネ・政策・政治を私物化している」と小泉政権を厳しく批判。「野党が連帯して、今臨時国会の会期延長を求めるとともに、小泉政権に不信任を突きつけていきたい。」と力強く述べました。

重点要求の実現を誓い合う

久保田連合副事務局長からは、「秋の取り組み」で確認されたの4つの最重点課題に加え、「定率減税廃止・縮減の断固反対」「自衛隊イラク派遣延長」も含めて、連合の取り組みの報告がありました。

さらに、中島電力総連会長代理、田島全国一

般書記長、遠藤連合東京事務局長からの力強い決意表明の後、連合東京女性委員の大浦さんが読み上げた集会アピールが満場の拍手で採択されました。最後に笹森連合会長の「団結がんばろう」で集会を締めくくりました。

2004 連合・秋の政策・制度要求最重点課題

<メインスローガン>

格差拡大の小泉構造改革と対決し、公正で安心な職場とくらしを実現させよう!

1. 雇用と地域を最優先した予算編成の要求
2. パート労働者の均等待遇法制化などの取り組み
3. 社会保障全体の抜本改革をめざす取り組み
4. 「不払い残業」撲滅の取り組み

緊急補正予算・2005年度予算に対する主な要求内容

1. 緊急雇用対策等の補正予算の早期編成・実施
【合計9,880億円、雇用増75万人】
 - 地域の実情に即した緊急雇用創出
 - 特別能力開発事業および緊急委託訓練事業の実施
 - 台風・地震等の災害復旧・復興
2. 国民の生活不安・将来不安を払拭する2005年度予算の編成等
【合計1兆3,535億円、雇用増21万人】
 - 地域の実情に即した雇用創出
 - 若年者雇用対策の強化
 - 中小企業支援対策の強化
 - 緊急委託訓練事業の実施
 - トライアル雇用に対する助成の抜本強化
 - 性の商品化や暴力を許さない社会づくり
 - 生涯を通じた女性の健康支援・自己決定の権利確立
 - 温暖化対策としての森林整備事業拡充と持続的な森林経営のための労働者確保
 - その他環境関連、食の安全・安心関連、住宅関連、教育関連等